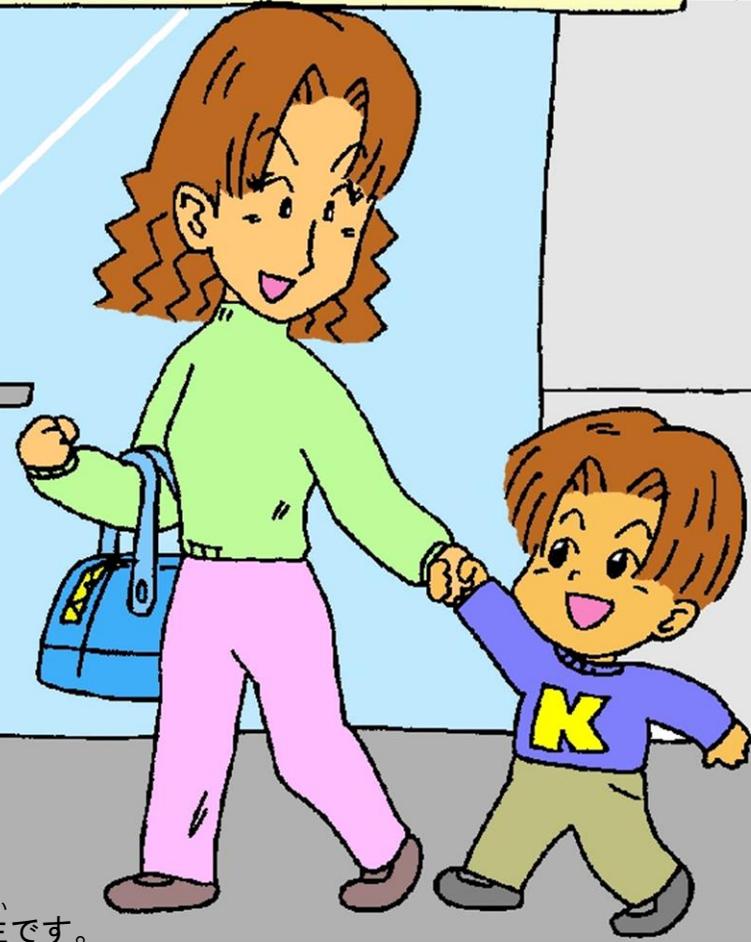


スーパー

よいこの
おちんちん



けいちゃんしょうがっこう1ねんせいは、小学校1年生です。
今からかあお母さんといっしょ一緒におか買いものいのに行くところです。

みせ つ
お店に着いたけいちゃん。

かあ か まわ
お母さんのお買い物についてあちこち回っています。

でも、けいちゃんは、だんだん^{つか}疲れて
きました。

かあ つか
「お母さん、疲れちゃったよ。まだあ？」

と、けいちゃんが聞いても、お母さんは、

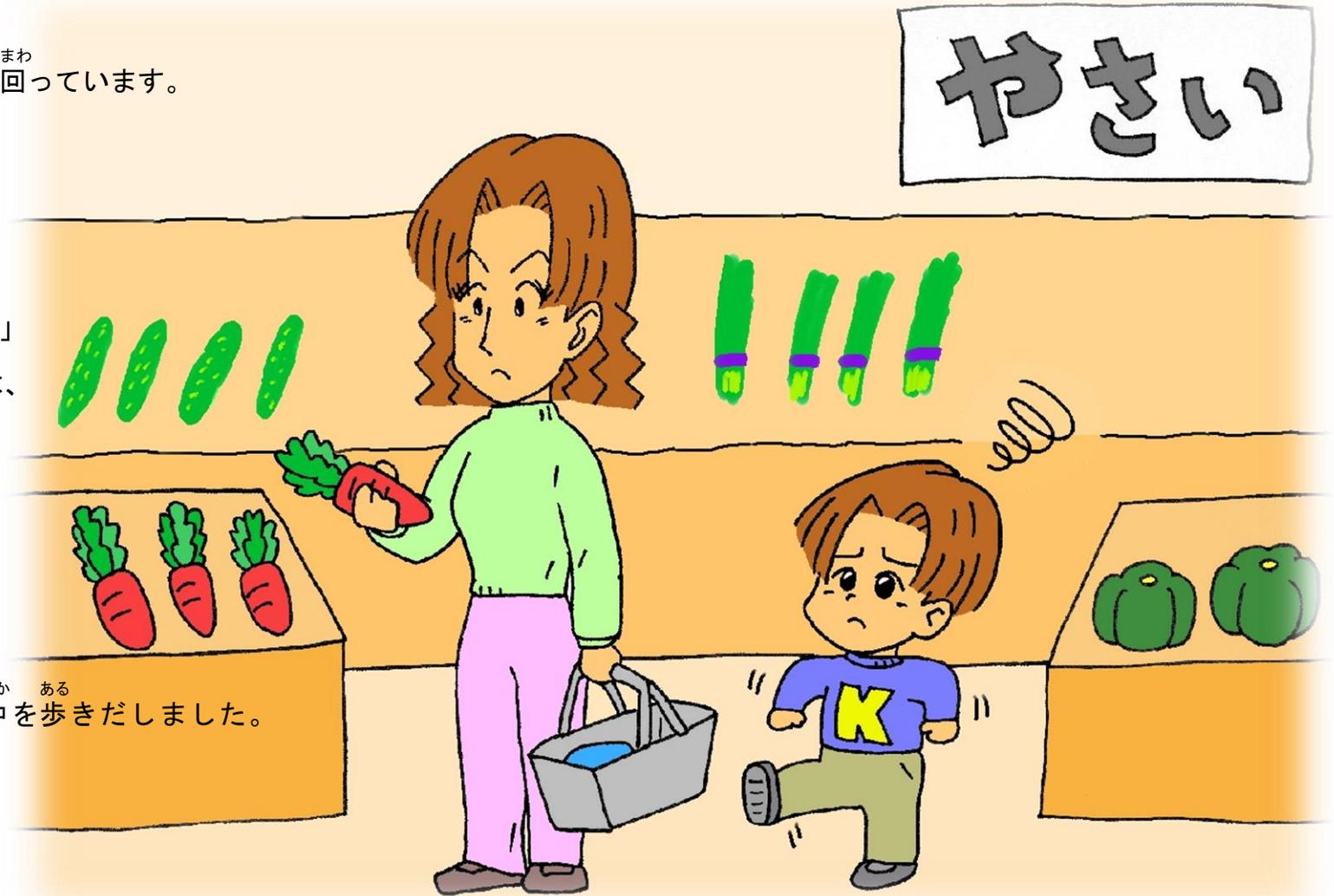
「ごめんね。もう少し^{すこ}まってね。」

と^いうだけです。

あし つか ある
足は疲れたし、ついて歩くのも

あ
飽きてきたけいちゃん・・・。

かあ はな ひとり みせ なか ある
お母さんから離れて、一人でお店の中を歩きだしました。



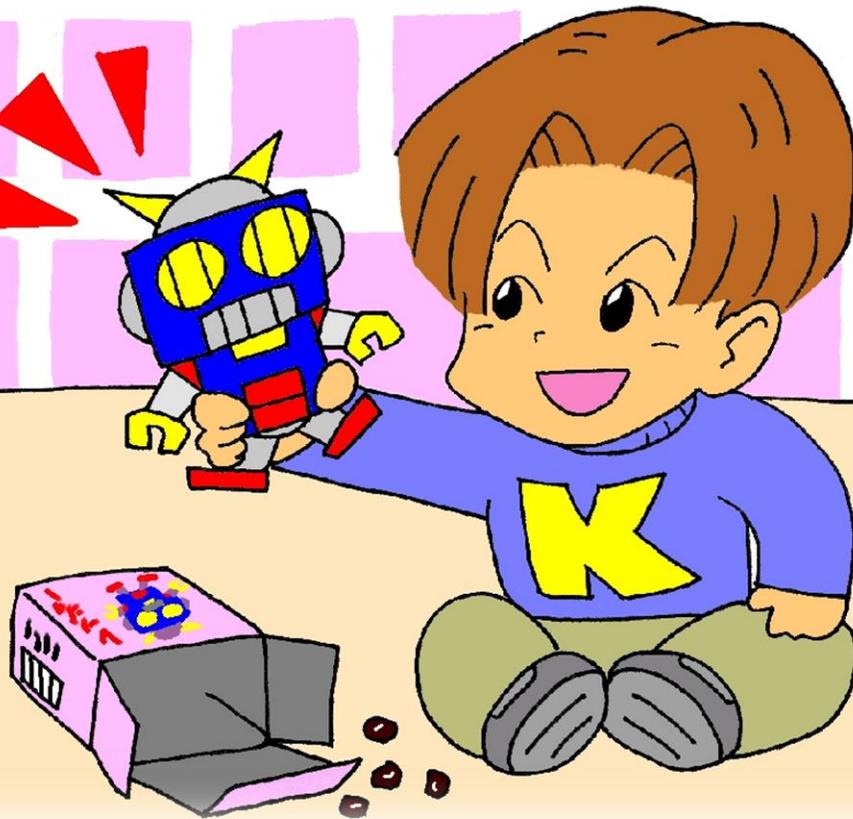
けいちゃんがお菓子売り場に行くと、大好きなレンジャーロボットの
ついたお菓子を見つけました。

「あっ、レンジャーロボットだ。お母さんに買ってもらおう。
お母さん、どこにいるのかなあ。」

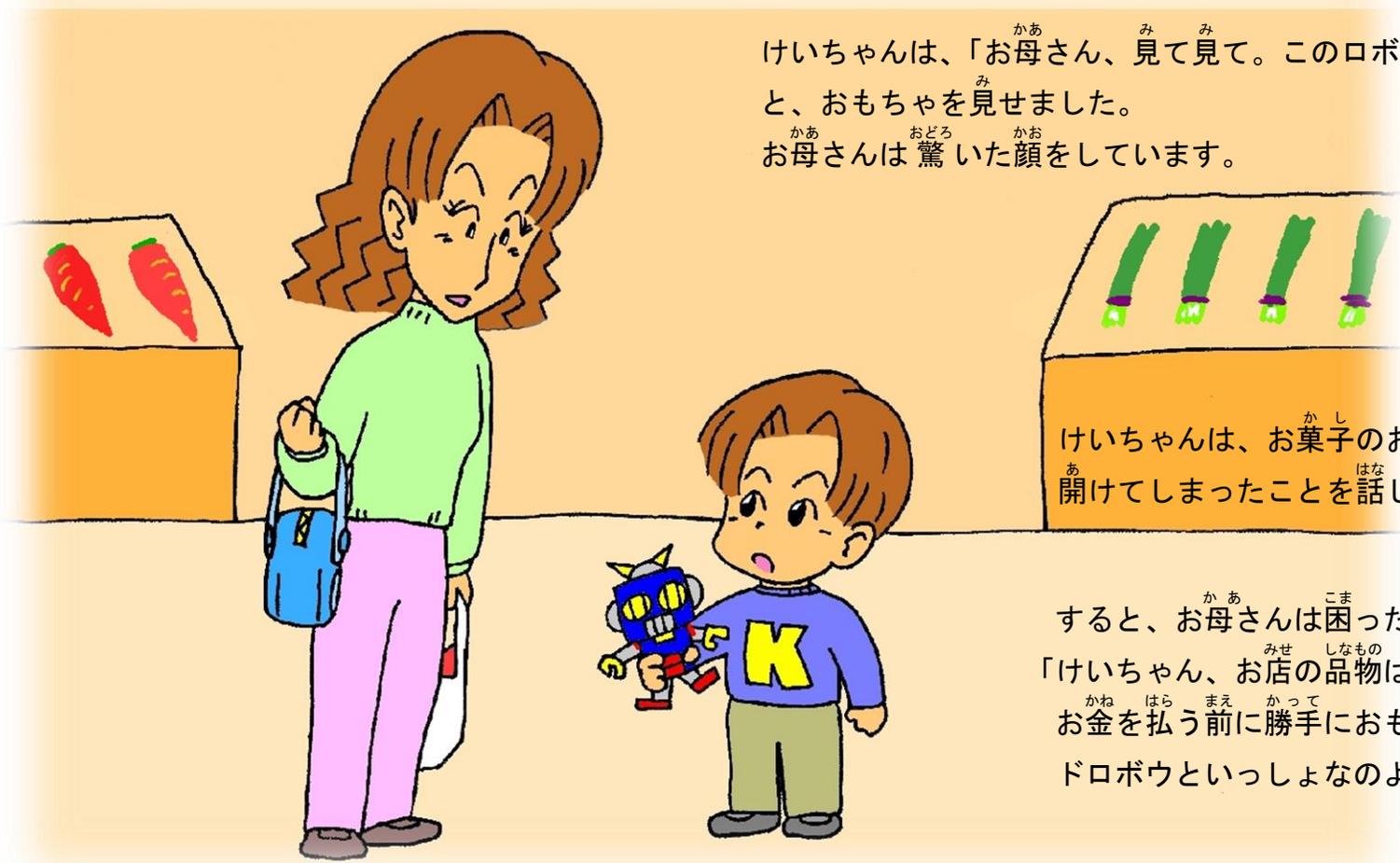
けいちゃんはお母さんを探しましたが、見つかりません。

「いないなあ。
後で、お母さんにお金をはらってもらえばいいから、
レンジャーロボットで遊んじゃおう。」

けいちゃんは、レンジャーロボットを箱から出して
遊び始めてしまいました。



そこへ、お買物^{か もの お}が終わったお母さん^{かあ}がやってきました。



けいちゃんは、「お母さん、見て見て。このロボット、カッコいいでしょ!!!」
と、おもちゃを見せました。
お母さんは驚いた顔^{おどろ}をしています。

けいちゃんは、お菓子^{かし}のおもちゃ^{おもちゃ}が欲^ほしくなって、おもちゃを
開^あけてしまったことを話^{はな}しました。

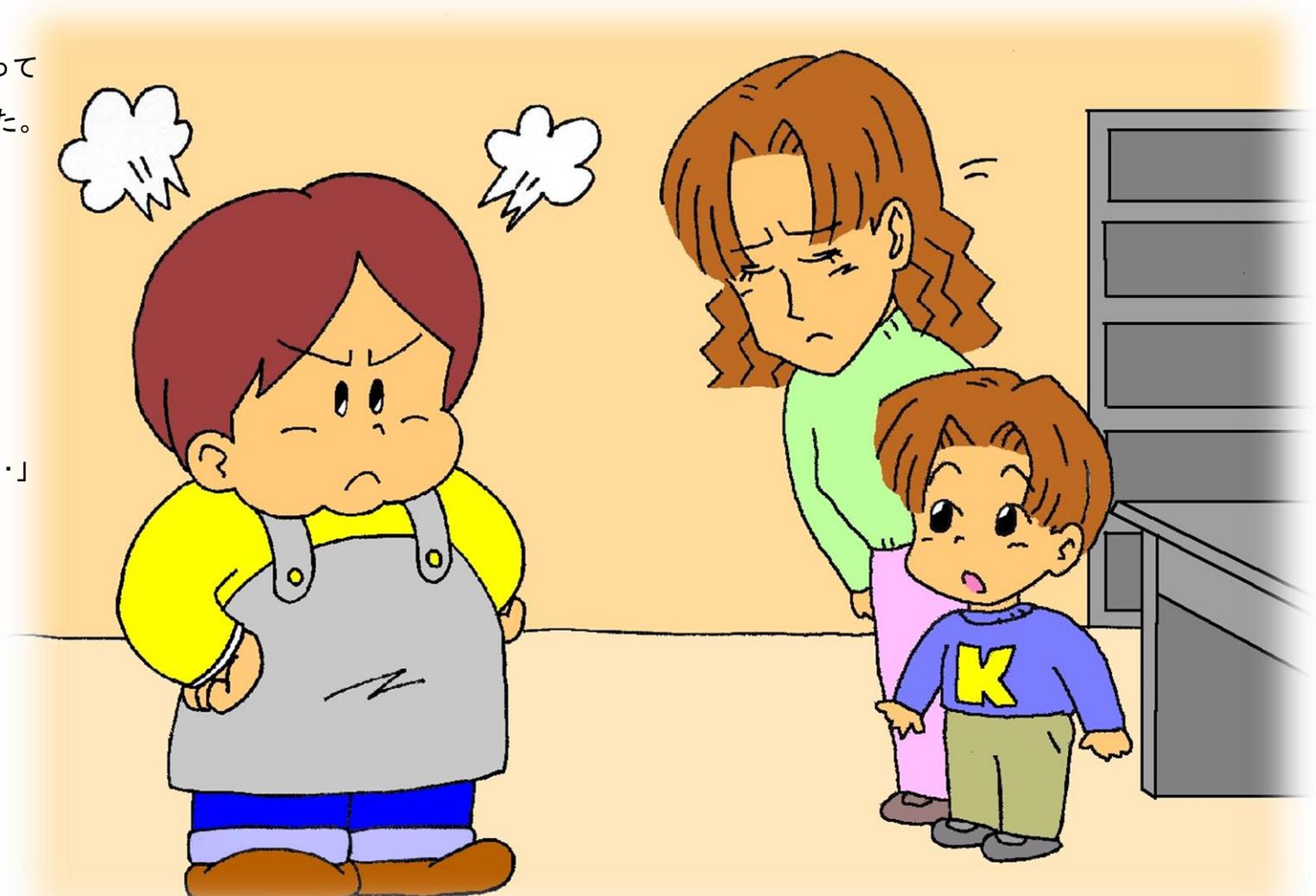
すると、お母さん^{かあ}は困^{こま}った顔^{かお}で、
「けいちゃん、お店^{みせ}の品物^{しなもの}はお金^{かね}を払^{はら}うまではお店^{みせ}の物^{もの}なの。
お金^{かね}を払^{はら}う前^{まえ}に勝手^{かって}におもちゃ^{おもちゃ}を開^あけてしまったら
ドロボウといっしょなのよ。」と言^いいました。

「ぼく、大^{たい}変^{へん}なことしちやっただけ・・・。」
けいちゃんはどうしていいのかわ^わからず、泣^なきそうになりました。

かあ て ひ ば
お母さんは、けいちゃんの手を引っ張って
みせ てんちよう い
お店の店長さんのところに行きました。

おこ てんちよう
そして、怒っている店長さんに
なんど あたま さ あやま
何度も頭を下げて謝りました。

けいちゃんは、
わる
「悪いことしたのは、ぼくなのに、
かあ あやま
どうして、お母さんが謝るんだろう……」
ふしぎ おも
と不思議に思いました。

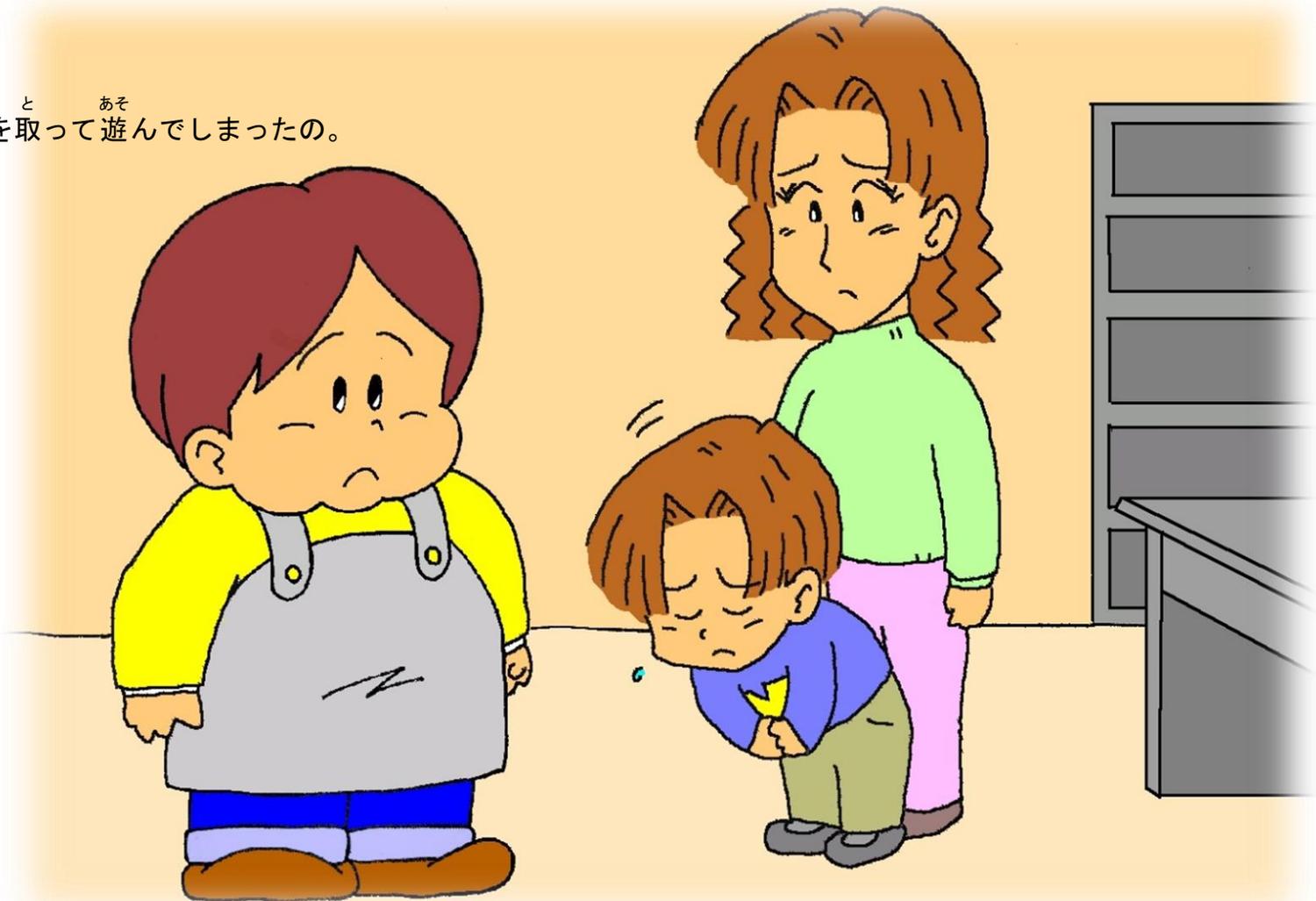


かあ はなし き てんちよう
お母さんから話を聞いた店長は、

みせ しなもの たいせつ か し かね はら かって も い
「お店にある品物は、どれも大切なものなんだよ。お菓子についてるおもちゃでも、お金を払わないで勝手に持って行ってしまうたら、
みせ ひと こま
お店の人みんなが困るんだよ。」
おし
と教えてくれました。

しょんぼりしている けいちゃんの様子を見たお母さんは、
「けいちゃん、悪いことをした時は、きちんとあやまろうね。」
と、優しい声で言いました。

「ぼく、お金をはらわないで、おもちゃを取って遊んでしまったの。
ごめんなさい。もうしません。」
と一生懸命 あやま 謝りました。





すると、店長は、
「欲しくてもがまんすることもたいせつだよ。
でもね、きちんと謝^{あやま}れてえらかったね。」
とやさしくけいちゃんの頭^{あたま}をなでてくれました。

そして、けいちゃんはお母さんと

Ⓐ わるいかかんが悪いか かんが考えます

Ⓑ ひとやなことを人に ししません

Ⓒ おとな はなまったら大人に はな話します

やくそく
というお約束をしました。

次の日も、けいちゃんとお母さんは
いっしょ か もの き
一緒にお買い物に来ました。

きょう よる
今日の夜ごはんは、なんだろうね。

